

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
垂水市	宮前地区	令和4年3月22日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	18 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	13 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	7 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	1 ha

2 対象地区の課題

本地区は、昭和初期に耕地整備が実施されているが、現状の区画形状じゃ5a～10aであるため、農業機械の作業効率が悪く、農道は狭く耕作や農産物の輸送に支障をきたしている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

本地区は農地中間管理機構関連整備事業の活用を目指し、宮前地区農地集積協議会を設立しており、中心経営体である担い手へ集約を進める。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	10経営体		5 ha		6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

宮前地区を農地中間管理機構の重点実施地区とし、将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地中間管理機構関連整備事業を活用し、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。

宮前地区については、農地のほぼすべてが水田であり稲作を実施しているが、米等の土地利用型作物以外に収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。